

理学・工学の融合によるイノベーションで未来を創る理系人材を育む

進化型理系構想

甲南大学の理系学部は、1951年の開学時に設置された文理学部にまで遡る。

文理学部は1957年に文学部と理学部に分離。その後、2001年に理学部を理工学部へ名称変更、2008年に知能情報学部、2009年にフロンティアサイエンス学部の設置を含む幾度かの学部・学科の改編を経て、現在の理系3学部体制となった。

そして今、本学が受け継いできた「正統派理系」の伝統をベースに、時代のニーズに応える新たな学びと研究を目指し、「進化型理系構想」が動き出している。

理工学部

環境・エネルギー工学科を加えた4学科へ再編

知能情報学部

近未来の情報学を見据えた甲南デジタルツイン研究所の開設

フロンティアサイエンス学部

新たに研究開発リーダー養成プログラムと4つのサブコースの誕生

MEMO

理工学部 学科新設[※]記念

進化型理系シンポジウム

未来をつくる 高度理系人材養成の 最前線

進化する「甲南理系」の可能性

2025

3.8

SAT

13:30—16:00 (開場 13:00)

会場

甲友会館

甲南大学 岡本キャンパス内
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1

主催

甲南大学

後援

毎日新聞社

未来をつくる 高度理系人材養成の最前線

進化する「甲南理系」の可能性

いま時代から、社会から、そして企業から必要とされる理工学のチカラ。
大きく変わりゆく未来を担う理系人材のポテンシャルを大切に育むために、
甲南大学の理系学部が進化します。理工学部環境・エネルギー工学科※を新設(2026年4月)し、
次なるステージへと歩み始めると共に、「グリーン」「デジタル」「マテリアル」「バイオ」を中心とした
「進化型理系構想」を推進。イノベーションで創造する未来を見据え、
私学として成長分野に貢献する理系人材の在り方について議論を深めます。

※設置構想中。設置計画は予定であり、内容が変更となる可能性があります。

講演者プロフィール



基調講演

慶應義塾長(慶應義塾理事長 兼 慶應義塾大学長)

伊藤 公平 氏 (パネリスト兼任)

1965年生まれ。1989年慶應義塾大学理工学部計測工学科卒業。94年カリフォルニア大学バークレー校工学部 Ph.D取得。助手、専任講師、助教授を経て2007年慶應義塾大学理工学部教授。17年～19年同理工学部長・理工学研究科委員長。日本学術会議会員。2021年5月慶應義塾長に就任。専門は固体物理、量子コンピュータ等。

パネルディスカッション



パネリスト

甲南大学
理工学部 教授

池田 茂 氏

1999年に東京工業大学大学院で博士課程を修了し、北海道大学助手、大阪大学助教授・准教授等を経て2016年4月から現職。大学院生時代より、光エネルギーを利用して水を分解し水素を生成する光触媒の研究に取り組む。また、環境に優しい触媒反応を実現するための固体触媒の開発や、太陽電池の新材料に関する研究も進めてきた。現在は特に光触媒の研究に注力し、その応用可能性を探索している。



パネリスト

テックタッチ株式会社
Web フロントエンジニア
甲南大学 知能情報学部 2019年卒業生

松本 彩樹 氏

2019年3月に大学卒業後、同年4月より株式会社CAMに入社。Webフロントエンドエンジニアとしてメディア開発を担当し、2023年には「CyberAgent Developer Conference」に登壇。2024年12月にCAMを退職し、2025年2月からテックタッチ株式会で新たな挑戦に取り組んでいる。



パネリスト

甲南大学
フロンティアサイエンス学部 助教

石川 真実 氏

2019年に甲南大学大学院フロンティアサイエンス研究科博士後期課程修了後、アエラスバイオ株式会社にて幹細胞の製造および歯科分野の再生医療に関する研究開発を行い、世界初の歯髄再生治療実用化に貢献。2024年9月より甲南大学フロンティアサイエンス学部に着任。研究分野は幹細胞生物学、免疫学、歯学。



コーディネーター

科学ジャーナリスト
東京農工大学 特任教授

須田 桃子 氏

毎日新聞、NewsPicksを経て2024年11月に独立。『捏造の科学者STAP細胞事件』で2015年に大宅壮一ノンフィクション賞、科学ジャーナリスト大賞を受賞。共著『誰が科学を殺すのか』で2020年に科学ジャーナリスト賞。NewsPicksの特集「虚飾のユニコーン線虫がん検査の間」で2024年に調査報道大賞奨励賞などを受賞。2冊目の単著に『合成生物学の衝撃』がある。

PROGRAM

13:30

開演・開会挨拶

13:35

基調講演

60分

私立大学4.0における理系の役割

慶應義塾長(慶應義塾理事長 兼 慶應義塾大学長)

伊藤 公平 氏

14:35

休憩(15分)

14:50

甲南大学 進化型理系構想 —進化する「甲南理系」の可能性—

甲南大学長 中井 伊都子

15:00

パネルディスカッション

60分

理工学のチカラで創造する未来と 次代の理系人材の役割について

パネリスト

慶應義塾長(慶應義塾理事長 兼 慶應義塾大学長)

伊藤 公平 氏

甲南大学 理工学部 教授

池田 茂 氏

甲南大学 フロンティアサイエンス学部 助教

石川 真実 氏

テックタッチ株式会社・Web フロントエンジニア
甲南大学 知能情報学部 2019年卒業生

松本 彩樹 氏

コーディネーター

科学ジャーナリスト/東京農工大学 特任教授

須田 桃子 氏

16:00

終了

※各部の所要時間および公演終了時刻は変更になる場合があります。休憩時間は場内アナウンスでお知らせいたします。

司会: 松葉 沙矢佳 氏 (フリーアナウンサー、甲南大学 経済学部 2006年卒業生)